

令和8年度

# 事業計画

付 令和8年度予算の説明

 日本赤十字社 大阪府支部  
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、  
人間だ。

大阪赤十字病院  
OSAKA RED CROSS HOSPITAL



# 基本方針

## 1.はじめに

日本赤十字社は、1877年の博愛社創設時より、国内外での戦時救護、災害救護活動をはじめ、医療事業や血液事業、社会福祉活動等、様々な社会課題やニーズに応じた事業を展開し、その使命を果たしてまいりましたが、現在、日本赤十字社が置かれている環境は大きく変わっております。

自然災害の増加や甚大化はもとより、人口構造の変化、グローバル化、ICT化、気候変動等が進む中で、多様で新しい人道問題も次々に生まれてきています。

こうした急速に変化する社会において、日本赤十字社は、より柔軟かつ的確に人道ニーズに対応できるような組織への変革と、これまでの常識や経験、考え方にとらわれない抜本的な改革や見直しにチャレンジしてまいります。

## 2.「長期ビジョン」の趣旨と位置づけ

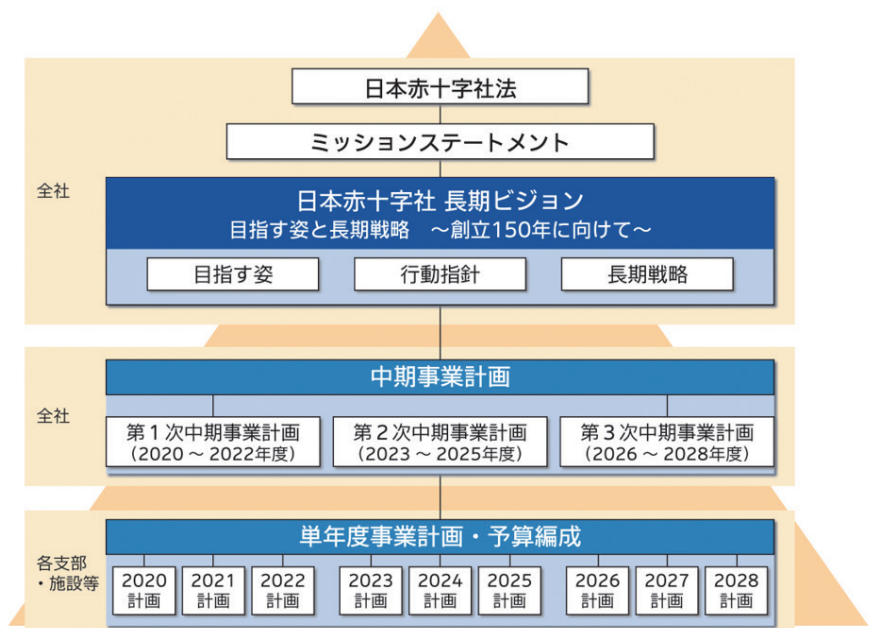
日本赤十字社がこれからの社会課題やニーズに柔軟に対応し、地域の期待に応え、創立150年に向けてその使命を果たし続けていくため、令和元年に「日本赤十字社長期ビジョン」を策定しました。

日本赤十字社が目指す姿「国内外における人道支援活動の『要』となり、我が国の地域医療・血液事業の中核を担う赤十字」を社内外に示すことで、組織の進むべき方向性の集束・横断的な結束を高め、より多くのパートナー（会員、ボランティア、寄付者等）の理解・協力を得ながら、更なる赤十字運動（ムーブメント）の推進を図ります。

また、この長期ビジョンに基づいて、本社・支部・赤十字病院・血液センター等において、より継続性・一貫性を持たせた効果的な中期事業計画や単年度事業計画の策定、予算編成等につなげていくものです。

## 3.本計画の基本方針及び位置づけ

本社が策定した長期ビジョン及び中期事業計画に基づき、日本赤十字社大阪府支部の単年度事業計画を策定しています。令和8年度（2026年度）も本計画に基づいて様々な赤十字活動を展開します。



# 目次

## 01. 事業について — P.4

### 国内災害救護



### 国際活動



### 赤十字ボランティア



### 青少年赤十字



### 救急法等の講習



### 医療事業



### 看護師の養成



### 社会福祉



### 血液事業



## 02. 運動基盤強化について — P.11

地域活動の推進

活動資金の募集

事業実施体制等の推進

## 03. 一般会計予算 — P.12

令和8年度予算の説明



# 国内災害救護

大地震、台風、集中豪雨等の自然災害や複数の災害が短期間に甚大な被害をもたらす複合災害に対し、迅速かつ効果的な救護活動ができるよう、災害救護体制の一層の充実強化に取り組みます。

## 国内災害救護に活用する金額

1億1,840万円

### 災害救護訓練の実施・参加及び行政・防災関係機関との連携強化

10回

- ・第4ブロック（近畿）合同災害救護訓練
- ・行政機関主催の救護訓練
- ・その他団体主催の救護訓練

### 救護員研修会の実施と救護員の養成

18回 350人

- ・救護員登録研修（オンデマンド配信）
- ・救護班要員研修Ⅰ（実技研修等）
- ・救護班要員研修Ⅱ（ブロック赤十字救護班研修）
- ・こころのケア研修
- ・災害対策本部要員研修
- ・救護資機材習熟研修
- ・日赤災害医療コーディネート研修 など

### 医療救護活動のための資機材の整備

- ・無線基地局の更新 1式
- ・dERU（国内型緊急仮設診療所）の備品 1式
- ・災害車両用トラックタイヤの更新 3台
- ・自動血圧計 8台
- ・救護用マルチバック 20個 など



悪石島診療所で診察を行う医師  
（令和7年6月トカラ列島近海地震）



避難所のアセスメント訓練に参加する救護班  
（第4ブロック合同災害救護訓練）



受援体制の訓練を行う支部職員（災害対策本部要員研修）



## 国際活動





国際救援や開発協力等に活動できる人材の養成や育成に努め、本社からの派遣要請に迅速に対応します。また、本社が支援している海外赤十字・赤新月社等の事業に対して、当支部からも資金を拠出するとともに、職員派遣等の人的協力にも努めます。なお、国際活動は、全国の支部からの拠出金等を財源に本社事業として実施しています。

### 国際活動に活用する金額


# 100万円

#### 国際救援要員の養成


質の高い国際救援要員を養成するため、次の研修に参加します。

- ・ 国際救援・開発協力要員研修  1回
- ・ 安全管理研修  1回
- ・ 保健医療 ERU<sup>※</sup>研修  1回
- ・ 安全管理ワークショップ  1回

#### 国際救援要員等の海外派遣

 本社から派遣要請があった際には、要員を調整し、派遣します。

#### 開発協力事業への参画

インドネシア・コミュニティ  
防災強化事業  100万円

#### NHK 海外たすけあいにおける 広報・募金活動の推進

※ 保健医療 ERU (Emergency Response Unit)：診療所や巡回診療（地域保健等を含む1次医療）と手術・入院設備を備えた医療施設（2次医療）の機能を持った資機材と要員



©パレスチナ赤新月社

建物のがれきの中、負傷者を救助する  
パレスチナ赤新月社スタッフとボランティア



©インドネシア赤十字社

学校で災害リスクについて学ぶ生徒



©TRCS

救援物資の準備を進めるタイ赤十字社スタッフ



# 赤十字ボランティア



奉仕団員に対してボランティア研修会を実施

地域に根ざした活動を行っている赤十字ボランティアが、世代や分野を越えて連携し、地域課題の解決に向けて活動できるよう引き続き支援するとともに、ボランティア活躍の場の拡充を図ります。

## 赤十字ボランティアに活用する金額

# 1,841万円

地域・特殊・青年奉仕団、個人ボランティアの主体的な活動への支援

- ・活動助成金の交付
- ・活動へのサポート



ボランティア研修会など各種研修会の実施

 4回  165人

- ・赤十字ボランティア基礎研修
- ・地域奉仕団ボランティア研修
- ・地域・特殊奉仕団合同委員長研修

防災・減災活動の推進

- ・赤十字防災デーの実施



災害に備えた他団体との連携・協働によるボランティア活動の場の拡充

- ・おおさか災害支援ネットワーク (OSN) 等の参画団体としての活動
- ・大阪災害支援活動連携会議への参加



各奉仕団が協働してブース出展 (中央区民まつり)



大阪城公園クリーンキャンペーンで清掃活動を行う青年奉仕団員






# 青少年赤十字

次世代を担う若年層が赤十字運動に参加し、赤十字活動を推進することができるよう、教育現場のニーズに即した青少年赤十字活動の展開、メンバー（児童・生徒）や指導者（教員）の育成を図ります。


## 青少年赤十字に活用する金額

# 1,447万円

### 青少年赤十字メンバーの育成

- ・リーダーシップ・トレーニング・センターの実施 
  - 1回（2泊3日）
  - トレーニング・センター活動報告会（仮称）を新規開催
- ・青少年赤十字スタディー・センターの実施 
  - 1回（1泊2日）
- ・高校生メンバーを対象としたボランティア活動体験の実施 
  - 子ども食堂活動
  - 献血呼びかけ活動
  - 高等学校メンバー連絡協議会における活動体験

### 青少年赤十字指導者の育成

- ・各種研修会・講習会の実施・案内 
  - 大阪府青少年赤十字指導者研修会
  - 第4（近畿）ブロック青少年赤十字指導者研修会
  - リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会
  - 青少年赤十字指導者中央講習会

### 学校における青少年赤十字活動の推進

- ・防災教育、国際理解・平和学習、健康安全プログラム等の出前講座の実施

 40回  3,000人



リーダーシップ・トレーニング・センターでワークショップに取り組む小学生



第4ブロック（近畿）青少年赤十字指導者研修会で意見交換する指導者



国際理解・平和学習プログラムの出前講座を行う日赤職員



# 救急法等の講習

救急法等の講習を通じて、いのちと健康を守る知識と技術を広く府民の皆さまに普及し、健康で安全な生活を送るための取組、さらには少子高齢社会における地域での自助互助の促進を図ります。



心肺蘇生・AEDの使い方や急病、けがの手当を学ぶ救急法



水の事故からいのちを守る知識や溺れている人の救助方法などを学ぶ水上安全法



乳幼児期に起こりやすい事故の予防や応急手当、看病の方法を学ぶ幼児安全法

## 救急法等の講習に活用する金額

3,772万円

### 実施回数・受講者数

#### 救急法

 200回  7,500人

#### 水上安全法

 35回  1,200人

#### 健康生活支援講習

 55回  1,100人

#### 幼児安全法

 100回  2,100人

#### 防災セミナー

 60回  2,000人



## 医療事業

大阪府内には、大阪赤十字病院と高槻赤十字病院の2つの赤十字病院があります。当支部は、両病院と協調・連携を図りながら、総合的調整のもと医療事業を推進しています。また、災害時には医療救護班を迅速に被災地へ派遣するための体制整備や、災害救護及び救急医療用医療機器等の整備に助成します。

### 医療事業に活用する金額

# 3,900万円

#### 災害救護及び救急医療用医療機器の整備助成

- ・全身用MR装置  1台 (大阪赤十字病院)
- ・デジタルX線TV装置  1台 (高槻赤十字病院)



医療処置を行う医師 (大阪赤十字病院)



打ち合わせを行う看護師 (高槻赤十字病院)



院内災害訓練 (大阪赤十字病院)



看護実習に臨む学生

## 看護師の養成

当支部では、大阪赤十字病院及び高槻赤十字病院が優秀な看護学生の修学支援を目的に行っている奨学金制度への助成制度等を設け、将来病院において指導的な役割を担う看護師の養成に努めます。

看護師の養成に活用する金額

**240万円**

高度医療を担う看護師の養成

・病院の奨学金貸与制度への助成



8人



ポッチャ大会に参加する子どもたち

## 社会福祉

大阪赤十字病院附属大手前整肢学園は、医療型障がい児入所施設として大阪赤十字病院の診療部門各科並びに検査部門と密接に連携し、医療・福祉サービスを提供しています。

社会福祉に活用する金額

**50万円**



献血ルームで献血に協力する男性

## 血液事業

当支部では、大阪府、各市町村、大阪府赤十字血液センターと連携を図りながら、幅広い年齢層の人々に献血の理解を深め、協力いただけるよう情報を提供しています。

府内の医療機関で必要な血液製剤をより安全に安定的に供給できるよう、採血受入機関の整備に助成します。

血液事業に活用する金額

**265万円**

採血受入機関の整備助成

- ・テント用遮熱天幕
- ・キャスター付パソコンケース
- ・採血者用照明 LED化
- ・電子カルテワゴン





## 地域活動の推進

地域活動の推進に活用する金額

**1億820万円**

地域赤十字奉仕団がニーズに応じた活動を推進していきます。



## 活動資金の募集

地域赤十字奉仕団のご協力による地域に根差した活動資金の募集を基盤として、協力者の利便性、ニーズに配慮し、個人・法人の方へダイレクトメールによる活動資金の依頼を行います。また、社会貢献活動に取り組む企業・団体とのパートナーシップ事業を強化するとともに、遺贈・相続寄付の受け入れを行っている団体としての広報活動を推進します。

地域住民をはじめ法人・団体など多くの会員の皆さまには、積極的に情報の提供を行い、赤十字運動にご理解とご協力いただくよう努め、財政基盤の安定化を図ります。



### 効率的・効果的な施策の実施

- ・地区区分及び地域赤十字奉仕団との連携
- ・ダイレクトメールによる依頼
- ・広報誌等の折込やポスティング
- ・クレジットカードや口座振替による募集



### 会員への報告

- ・情報誌等の発送

年2回



### 支援者への表彰式典

(大阪府赤十字大会)の開催



### 遺贈・相続セミナーの開催

4回 400人



## 事業実施体制等の推進

赤十字事業の円滑な運営及びさらなる発展のため、広報の強化、職員の育成、大阪赤十字会館の適正な管理に努めます。



### 広報の強化

活動資金の募集に併せた効果的な広報に加え、TVCMやWEB広告を通して、ブランディング広報を強化するとともに、在阪団体とタイアップしたイベントを開催するなど、多くの府民の皆さまに赤十字活動への理解を深めてもらえるように情報の発信に努めます。



### 職員の育成

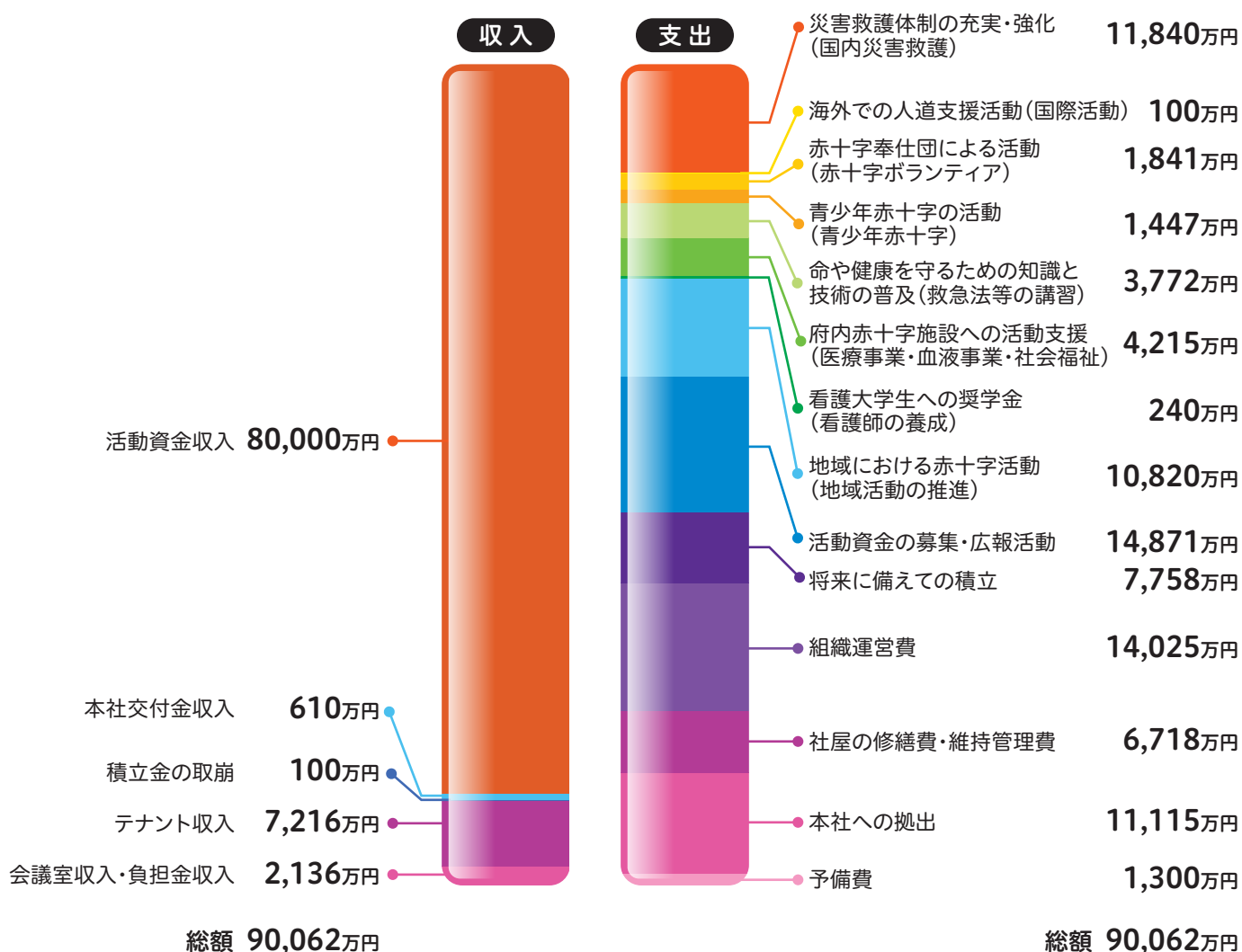
多様化するニーズに対応し得る専門性や行動力を有する職員を育成するため、研修を計画的に実施します。また、支部・赤十字病院・血液センターのグループ力を高めるために日頃から連携を図り、人事交流を推進します。



### 大阪赤十字会館の適正管理

当会館は、災害時のロジスティクス中継基地に指定されています。建設後、50年を経過する会館の施設設備には老朽化が認められるため、会館の機能維持に必要な継続的かつ効率的な維持管理・修繕に努めます。

# 令和8年度予算



～赤十字の活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金によって支えられています～  
皆さまのご支援・ご協力をお願いします。

郵便局・ゆうちょ銀行からの  
お振込によるご協力

口座番号:00990-4-54795

加入者名:日本赤十字社 大阪府支部

※窓口からのお振込は、手数料が免除されます。

※銀行(りそな、三井住友、三菱UFJ、みずほ)からお振込みの場合は、手数料が免除となる振込用紙をお送りしますので、下記のお問い合わせ先までご請求下さい。

クレジットカードによる  
ご協力

クレジットカードの決済でご協力いただけます。

※日本赤十字社のホームページ(<https://donate.jrc.or.jp/lp/>)から手続きをお願いします。

遺贈、相続財産寄付による  
ご協力

遺贈(遺言による寄付)や相続財産寄付を承っております。

※遺贈・相続財産寄付に関する資料請求やお問い合わせは、下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

